

◇————◇  
公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
メールマガジン Vol.118 2023/5/15  
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————★ INDEX

- [1] 【三役コラム】 VOICES の投稿は大変有益です
- [2] 【航空局】「飛行自粛等に関する警備協力依頼について（G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議関連）」について
- [3] 【航空局】 G7 広島サミット等開催に伴う航空保安対策の強化について
- [4] 【航空局】「人権尊重のための実務参照資料の公表」について
- [5] 【VOICES FEEDBACK】  
<①“via…direct”の意味><②患者の移乗中にダウンウォッシュでヒヤリ>
- [6] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開
- [7] 【お知らせ】「夏休みこども航空教室・操縦体験」開催と申し込み開始日のお知らせ
- [8] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [9] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [10] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について
- [11] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

- ★————
- [1] 【三役コラム】 VOICES の投稿は大変有益です  
副会長 田中 康浩
- ★————

私は、年に3回開催される VOICES(航空安全情報自発報告制度)分析委員会に参加しています。今般最新版の「FEEDBACK」が3月29日に公開されました。<http://jihatsu.jp>  
今回208件の中で、管制官からの投稿の中で、是非 Pilot の皆さんに共有していただきたい件が有りますので、詳細はこのメルマガの

[VOICES FEEDBACK]で紹介致しますので、ご一読ください。  
“Via.....direct....”の意味を Pilot に正しく認識頂きたいとの事で、  
VOICES に投稿されています。この件に関し、JAPA では、E-journal  
に掲載、AIM-JAPAN への掲載を計画し、Pilot の皆さんに広く知っ  
て頂けるよう進めて参ります。VOICES への管制官からの投稿は、  
Pilot からの投稿と比較すると若干少なめです。今回の大変有益な情  
報が、今後も多く投稿される事を願っております。  
JAPA では、VOICES の様に、外部団体の様々な委員会にも委員を派  
遣しております。Pilot の皆さんに有益な活動となる様に会員の皆さん  
は、それぞれ勤めておられます。その他にも様々な活動も行っ  
ております。  
皆さんの入会を心よりお待ちしております。

★

[2] 【航空局】「飛行自粛等に関する警備協力依頼について（G7 新潟  
財務大臣・中央銀行総裁会議関連）」について

★

5月11日～13日にかけて「G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議」が開  
催されることに伴い、新潟県警察本部長から飛行自粛に係る協力依頼  
がございましたので、お知らせいたします。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8027>

★

[3] 【航空局】 G7 広島サミット等開催に伴う航空保安対策の強化について

★

令和5年2月27日付国空総第1156号で通知したG7広島サミット等開  
催に伴う警備協力について、ハイジャック等防止対策の徹底及び小型  
航空機に対する管理体制の強化に係る具体的な措置等について、周知  
依頼がありましたのでご確認ください。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8011>

★

[4] 【航空局】「人権尊重のための実務参照資料の公表」について

★

人権ガイドラインに基づく、人権尊重の取組内容をより具体的かつ実務的な形で示すための資料として、経済産業省から「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のための実務参照資料」が4月4日に公表されました。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8000>

★

[5] 【VOICES FEEDBACK】

<①“via…direct”の意味><② 患者の移乗中にダウンウォッシュでヒヤリ>

★

<①“via…direct”の意味>

連休中日、ダイヤの乱れを感じるトラフィック量の多い時間帯で管制OJT に就いていた。大分空港から FUSHA ONE DEP, FIATO Transition で飛行中の航空機に対し、早めに将来の指示を出しておいて一時的なワークロードを減らす目的で、FUSHA の手前から“Recleared via DONAR Direct KTE.”と指示。パイロットのリードバックは正確であったが、約 2 分後にウォッチしていた訓練監督者が当該機は FUSHA を経由せずに DONAR へ直行していることに気付いた。結果、当該機は通過許可なく岩国 APP エリア境界線沿いを飛行した。要因として、パイロットが経路変更の指示の意味を誤認していたことが考えられる。

“via…direct…”は、普段既に直行している Fix を起点にして用いられることも多く、意味の違いに気付きにくかったのかもしれないが、あくまで当用語は管制承認の変更部分を伝えているに過ぎず、Present Position からの直行指示とは異なる。本件のように APP 空域または ACC 他セクターや制限空域等に侵入することで、とっさの回避指示が難しい TFC との

接近を招くのは無論のこと、飛行位置によっては MVA 以下での直行となり Terrain に近づく危険もあるため注意が必要と思う。

訓練監督者からは以下のコメントをもらった。繁忙時の通信時間減 & 思考時間確保のために“via…direct…”という表現は本来大変に有効であるはずですが、実際にはパイロットに伝わらない用語として以前から管制官内で知られており、“after…direct…”と言い換える対応が個々人ベースでなされながら現在に至ります。伝わらない用語は用語の体を成せていないとも言えますので、きちんと管制側で用語を変更する、または、意味を航空会社へ周知する等対応していれば、本事例は防げたと考えます。しかし少なくとも現在は、“via…direct…”が意味するのは“via 以降の経路の変更”であって、via 以前の直行等を含んだ Clearance ではないことを、パイロットの皆様には今一度ご認識いただきたく思います。

☞ VOICES コメント 大変有益な情報であり、投稿ありがとうございました。

#### <② 患者の移乗中にダウンウォッシュでヒヤリ>

固定翼機の患者搬送で目的空港に到着して駐機した際、隣のスポットでヘリコプターがエンジンを回していた。当機はエンジンを停止し、いつもどおりに救急車を機側に接近させた後にエプロンで患者の移乗作業を行っていた。その間に隣のヘリコプターがホバリングシタクシーを開始したので、移乗作業を中断せざるを得なかった。幸いにも患者を乗せたストレッチャーは救急車の陰となり、ダウンウォッシュの影響を直接受けず事なきを得た。

☞ VOICES コメント

固定翼操縦士は、隣のヘリコプターがエンジンを既に回していることから、ホバリングする可能性を予測できたと思われ、何らかの手段でヘリコプター操縦士にホバリングするのを待ってもらう対応が必要であったと考えます。ヘリコプター操縦士側も、救急車が進入してきたことが確認できた場合は、隣で患者の移乗作業等が行われることが予想できたかもしれません。双方の状況判断における予測と情報共有を積極的に行うことが求められます。また、空港管理者も緊急車両に関する情報を入手している場合は、可能な限り状況共有を行っていただきたいですね。



[6] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。  
ぜひご覧ください。

《運航技術委員会》

・【JAPA E-Journal 2023-001】「あなたならどうしますか？」



[7] 【お知らせ】「夏休み子ども航空教室・操縦体験」開催と申し込み開始日のお知らせ



小学3年生～6年生を対象に航空教室・シミュレーター操縦体験を開催します。航空教室では、クイズなども盛り込みながら飛行機の飛ぶ仕組みを、わかり易く解説します。  
また、シミュレーター操縦体験を行い、空の散歩を楽しんでいただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

対 象 : 小学3年生～6年生  
開催日 : 8/7 (火)、8/9 (水)、8/24 (木)  
時 間 : 13:00～16:00  
場 所 : 日本航空機操縦士協会 会議室  
定 員 : 各日8名  
料 金 : 無料

お申し込み開始日: 6/1 (木)  
詳細は6/1以降のHPをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/>



[8] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《航空安全講習会》

7月1日 熊本開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

---

《第18回 TEM/CRM セミナー基礎コース【前半・後半】》

6月22日、23日東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

---

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、ご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決め、当該運用手順に従い遂行してまいりました。

この度、厚生労働省ならびに東京都福祉保健局によって示された「2023年3月13日以降のマスク着用の考え方」に従い、今後、同年4月1日以降に開催されるセミナー・講習会へのご参加にあたりましては、改めて下記内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/japa20230401.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★

[9] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★

【新発売】

・2023年版 学科試験 スタディガイド

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★

[10] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★

[11] 【お知らせ】協会事務局の勤務体制について

★

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：5月15日（月）～（終了に関しては別途お知らせします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-17：00

\*\*\*\*\*

★次回の配信は6月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法  
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

-----  
【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>  
-----